

# 人権教育だより

桜塚小学校  
人権教育研究部  
2024.3

桜塚小学校では、「人権を自分自身にかかわる身近な問題として、気づき、考え、行動する意識を持つ素地を育てたい」との思いから、〇一人ひとりの願いを大切に、互いを認め合える心を育てる 〇生命がかけがえのないものであることを知り、生命を大切にする心を育てる を研究主題とし、様々な取り組みを行っています。

人権教育だよりでは、校内で行った取り組みなどを不定期で発信していく予定です。

## 2月29日、命の日を行いました

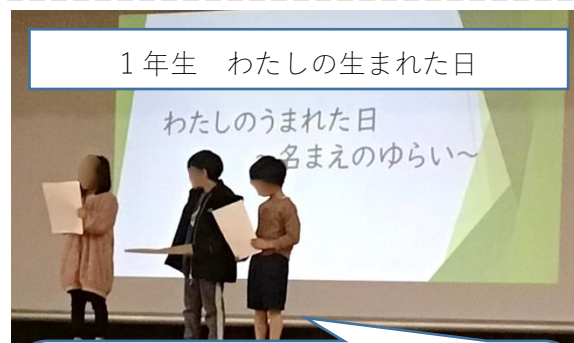
16年前の2月29日、桜塚小学校の4年生だった山田健太さんが、交通事故で尊い命をうしなしました。

事故を風化させず、山田健太さんの思いを受け継ぐため、桜塚小学校では毎年2/29(または2/28)を「命の日」として、命の大切さや尊さについて考える機会としています。

学年ごとに 今年 命について学んだことや感じたことを 発表しました

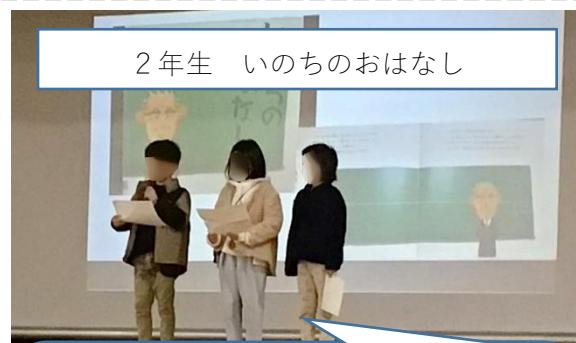


山田健太君の追悼スライドを見ながら、なぜ「命の日」があるのか、どんな思いを受け継ぐのかお話を聞きます。当日は、山田健太君のご家族、地域の伴野さん、見守りをしてくださっている豊中警察署の吉田さんも参加されました。



1年生 わたしの生まれた日

自分の名前の由来をおうちの人に聞き、命の大切さを学びました。家族みんなに大切にされていること、お母さんが大変な思いをして生んでくれたことを知りました。



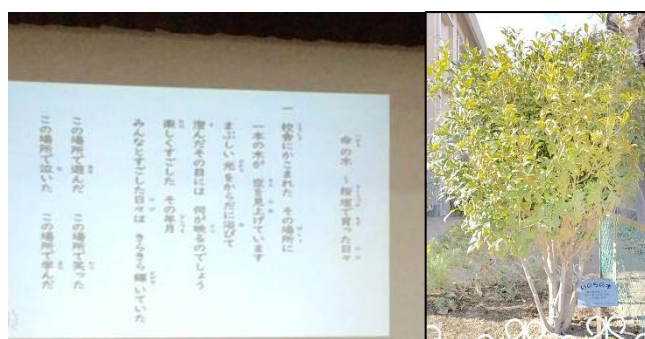
2年生 いのちのおはなし

絵本を読んで、自分の命を大切にすることを学びました。「自分の命の時間をたいせつにしようと思った」「いのちってつながってるんだな」「自分の命をどう使うか、考えようと思った」



3年生 助かった命

阪神淡路大震災を題材に、命を守ることや、当たり前の毎日にはかけがえのないものだということを学びました。亡くなった方のご家族の話聞き、自分の命だけでなく、みんなと協力して命を守ることが改めて考えました。



健太君の思いを忘れないために校庭に植えられているキンモクセイ「命の木」。その木をモチーフに作られた歌を全員で歌唱しました。



4年生 命について考える学習

保健の学習や出前授業など、様々な場面で命や性について学びました。出前授業では、出産は大変なことでお母さんも赤ちゃんも苦労して生まれてきていること、命は一度失うともう戻らないことを改めて学習しました。



5年生 詩「命」

11歳で亡くなった宮越由貴奈さんが書いた詩「命」を読み、感じたことを発表しました。精一杯生きることの尊さや、一人一人の命を大切にするため、いじめをなくし、ひとに優しくすることなどを改めて考えました。



6年生 君たちに伝えたいこと

お互いが喜び合えるよう、世界の人一人でも多く笑顔になれるように、やっておけばよかったと後悔しないよう、一日一日を大切に生きる。自分の心も相手の心も大切にしたい、と最高学年らしく発表してくれました。